


要領様式第2号

出張報告届

令和元年12月18日

吹田市議会議長様

会派名 民主・立憲フォーラム

出張者氏名 西岡 友和 

..... 

..... 

..... 


..... 

..... 

..... 

下記のとおり出張したので届け出ます。

記

出張先	滋賀県東近江市 道の駅「奥永源寺溪流の里」		
期間	令和元年12月14日から12月14日まで1日間		
出張の成果	別紙のとおり		
備考		認 印	会派代表者
			



日時；12月14日（土）

訪問先；東近江市 奥永源寺道の駅

視察内容；道の駅「奥永源寺溪流の里」を拠点とした長期実証実験

応対者；国土交通省 近畿地方整備局 都市整備課長 鈴木 豪

日本工営(株) 交通都市部 システムグループ課長 辻 健太郎

すでに廃校となった中学校を活用した道の駅で、市役所出張所や診療所などを有する地域住民の生活をささえる地域拠点をつくるのが、これからの高齢社会では求められる事になります。

東近江市が運営するコミュニティーバスは、現在、地域住民の要望に応える形で、7時～19時の間に約2～4時間間隔で1日4～5往復運航しており、貨客混在型の運用がなされている。

今回の実証実験では、あくまで集落の中を走るにとどまり、市道や県道にはアクセスできない。これは、いまだにレベル2の自動運転であることから、現在の法律ではドライバーが必要となる。今後、法整備はもちろんの事、コストを含めた実用化にいたっては、まだ時間がかかる印象。吹田市においては、まだ実験の段階とはいえ、高齢化が進むニュータウンなど、導入にむけた調査を前向きに進める必要があると感じた。